

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 頻発性心室期外収縮に対するカテーテルアブレーションの有効性(年齢別、通電回数など)の評価_』

研究機関名 東邦大学医療大森病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 准教授 藤野 紀之

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院 循環器内科では、頻発する心室期外収縮(PVC)に対するカテーテルアブレーション治療成績と予後を把握することを目的として本研究を計画しました。PVC に対するカテーテルアブレーションの有効性は示されていますが、心電図波形や年齢により成功率は異なり、長期成績や 20 歳未満の若年者に関してはいまだに不明な部分が多いのが現状です。したがって、当院で過去にアブレーション治療歴のある症例を後方視的研究により、新たな知見について検討を行うことは予後規定因子の検出や病態の解明などにつながり、今後のカテーテルアブレーション治療の改善に寄与し、遠隔期成績の向上につながるものと考えております。

【他機関への提供研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。大森病院循環器内科学講座および池田隆徳主任教授は各製薬会社や医療機器メーカーから講演料もしくは研究寄付金を取得しています。資金提供を受けている企業が研究に関与すること(利益相反状態)を回避するために、医療情報の調査や得られたデータの解析などは複数の医局員(研究実施担当者)で担当し、研究実施担当者が合議で進め、お互いにチェックし合う体制を構築しています。この手順により企業との利益相反を回避し、結果公表のバイアスを防止すると共に、成果の客観性を保つように配慮いたします。

対象者:2011年5月～2023年12月までに東邦大学医療センター大森病院循環器内科において、カテーテルアブレーション治療を受けた患者様を対象として、治療期間中に行った血液検査や画像検査の結果、カテーテル治療や薬物療法などの治療経過を電子カルテ記録から抽出し、解析することにより治療効果と安全性を調査します。

方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

試料:血液、尿、心電図、24時間心電図、心エコー図などの生理機能検査、胸部レントゲン、カテーテルアブレーション等の画像検査 等

(例)情報:病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 等

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、

個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記へご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】
科

東邦大学医療センター 大森病院 循環器内

職位・氏名 准教授 藤野 紀之

電話 03-3762-4151 内線 6545